



ウェブ広告の活用力底上げ

「リスティング広告」。ヤフーなどの検索ページでキーワード検索した際、その結果に連動して表示されるリスト型の広告のこと。その運用代行を手掛けるカルテットコミュニケーションズ(堤大輔社長)。「日本のウェブ広告の活用力を底上げし、広告を出稿する企業やウェブを閲覧する人など全員を幸せにする」という経営ビジョンを掲げ、顧客の利益を最大化にさせるウェブ広告の企画を専門に業容を拡大している。

堤さんは、2006年3月に静岡大学工学部を卒業し、ウェブ販促の営業職などを経て、09年に個人事業を立ち上げた。ウェブやチラシ印刷など広告業を担い、11年には法人に格上げ。カルテットコミュニケーションズを発足させた。

12年3月にリスティング広告の運用代行業務に特化した。従来の広告媒体は量に比例して出稿コストなどがかさむのに対し、リスティング広告は特定のユーザーに広告を打ち出せるため高い効果が見込める。「狙い撃ち」の広告手法が最大の特徴だ。

カルテットコミュニケーションズ



堤大輔社長

毎月数十社のペースで新規顧客を開拓。会社設立からまもなく5年を迎えようとする中、取引先は中小、零細企業を中心に全国700〜800社に上る。設立時から従業員は約10倍、売上高は約17倍に増えた。顧客からは「リスティング広告運用開始の翌月から月商が1.5倍に増えた」。

「運用開始初月から100件以上の新規問い合わせを獲得」「テレビ番組に出演した」などの成果事例が報告されているという。大手検索エンジンなどからも多くの賞を受賞。堤さんは「少額で販促活動ができるほか、多種多様な業種に対応できる独自の運用システムが強み」と高評価の要因を分析する。

今後も名古屋を拠点に活動を貫く構えを見せる堤さん。「地場産業の力を駆使して、中小、零細、ベンチャー企業をもっと元気にした」。社員の平均年齢29歳という情熱と柔軟な発想の提案力も武器に、もう一段の事業拡大を狙う。

【プロフィール】つみみ だいすけ 32歳。豊田市出身。

【企業メモ】本社 名古屋市中区栄々の2の23、アーク白川公園ビルディング5階
▽電話 052・684・5841 ▽設立 2011年8月 ▽従業員数 42人 ▽売上高 8億5千万円 (15年7月期)